

1. 研究課題

- 小・中連携システムの構築による系統的・一貫的な教育活動の展開
- 意図的・計画的な体験活動を通して社会的自立の基盤となる力の育成
- 地域や保護者への啓発・協力の拡大



2. 取組内容

- ①小・中合同研修会の開催
 - ・育てたい力の一貫的共通課題、発達段階課題の設定
 - ・重点課題自己チェック表による意識付け・自己評価
- ②ゲストティーチャー講演（マナー講座・実体験による職業選び）
- ③職場体験学習（2年）
 - ・事前学習（仕事調べ、マナーやあいさつ等の事前指導、事業所連絡、打ち合わせ）
 - ・職場体験活動（10月18日～22日）≪169名 61事業所：5日間≫
 - ・校区内6小学校で体験の様子の写真等掲示
 - ・活動後アンケートの実施（事業所、保護者、生徒、教職員）
 - ・職場体験活動報告集の作成（事業所にも配布）
 - ・事後指導（校内発表会<1年生・事業所・保護者参観>）→ <屋台形式>
 - ・校区内小学校での発表会（渋野小学校5・6年生参観）



職場体験活動後アンケートより

○今まで苦手な分野だと思っていた。初日は乗り気でなかったが、2・3日目とだんだん興味がわいてきたらしく楽しそうでした。最終日は「もう少し行って教えてもらいたい。」と言っていた。働くことの大切さを少しは分かったようでした。（保護者）

○2～3日の間は楽しいという気持ちが勝っていたが、4～5日目になると疲れもたまってきた仕事の大変さも実感できたようだ。（保護者）

○初対面の人との対話など日を増すごとに本人の自信が深まっていったようだ。（保護者）

○生徒と一緒に仕事をする事で普段にない刺激となり自分の仕事の再確認ができた。（事業所）

○どんなことにも積極的に中学生のフレッシュな姿、真面目さ真剣さが伝わりました。来年も続けて協力したい。（事業所）

○前回までは慣れないまま終わっていたが、今回は5日間と長くにぎやかで積極的な意見交換もできて良かった。（事業所）

<生徒アンケートより>

- 活動内容は充実していた・・・94.9%
- 家庭でよく話題になった・・・71.4%
- 事業所や地域とよくふれあえた・・・88.6%
- 自分自身が大きく変わった・・・61.8%
- 将来の夢就きたい仕事など考えるようになった・・・89.8%

◎この体験を通してもっと自分が身につけたい力は？（複数回答可）

- ・あいさつなど社会に必要なマナー・・・57.3%
- ・コミュニケーションの大切さ・・・56.1%
- ・仕事のやりがい・・・41.4%
- ・その他（積極的に話しかけること、嫌なことがあってもいつも笑顔、体力）など

3. 成果と課題

- 小・中連携システムの構築と発達段階に応じて身につけたい力の明確化。
- 小・中共通課題「あいさつ」「わからないことを聞く」を自己評価することにより意識の浸透が深まりつつある。
- 職場体験学習の事前事後指導の充実。学んだことを職場体験活動後の発表会で互いに共有するとともに1年生や小学校にもつなげた。
- ◎職場体験活動の受け入れ事業所の長期的な関係づくりと新しい事業所の開拓。また、地域・保護者への啓発・協力の拡大。

ご協力いただいた事業所の方々、また保護者のみなさま、本当にありがとうございました。

<調査研究校>

徳島市南部中学校

生徒数 605人

所在地：徳島市勝占町外敷地62番地

電話：088-669-0724

FAX：088-669-1491

学校HPアドレス：http://tgn.tcn.ne.jp/~nannbu_jh/